

平成30年度当初予算  
部局別要求方針

会計課

# 部局別予算要求方針

## 1 30年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

資金運用については、金融情勢が先行き不透明ではありますが、安全性及び流動性を担保したうえで、柔軟かつ効率的な運用を行い、歳入の確保に努めます。

歳出については、業務の外部委託により体制をスリム化し、事務事業の標準化、一般化を進めます。

## 2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ・新地方公会計整備
- ・収納業務の外部委託
- ・資金運用

(事業の必要性)

- ・国が定める統一的な基準を用いた公会計の整備は、第3次長浜市行政改革大綱の方針に掲げられているとおりであり、行政改革の基盤となる財務書類4表の作成業務の一般化と定着が求められています。
- ・各種収納金の納付書等のフォーマットの整理、管理や収納業務の標準化が必要です。
- ・収納業務は、財政健全性確保を目的とした事業として捉え、安全性と効率性に考慮しながら適切にコントロールする必要があります。

## 3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

業務リスク管理、統一的な基準を用いた公会計の整備、柔軟かつ効率的な資金運用等、求められる役割に対応するため、従来からの基幹業務である調書審査、出納業務の効率化に取り組みます。